

リアルタイム崖崩壊予測システムに関する研究開発

応用例とその効果

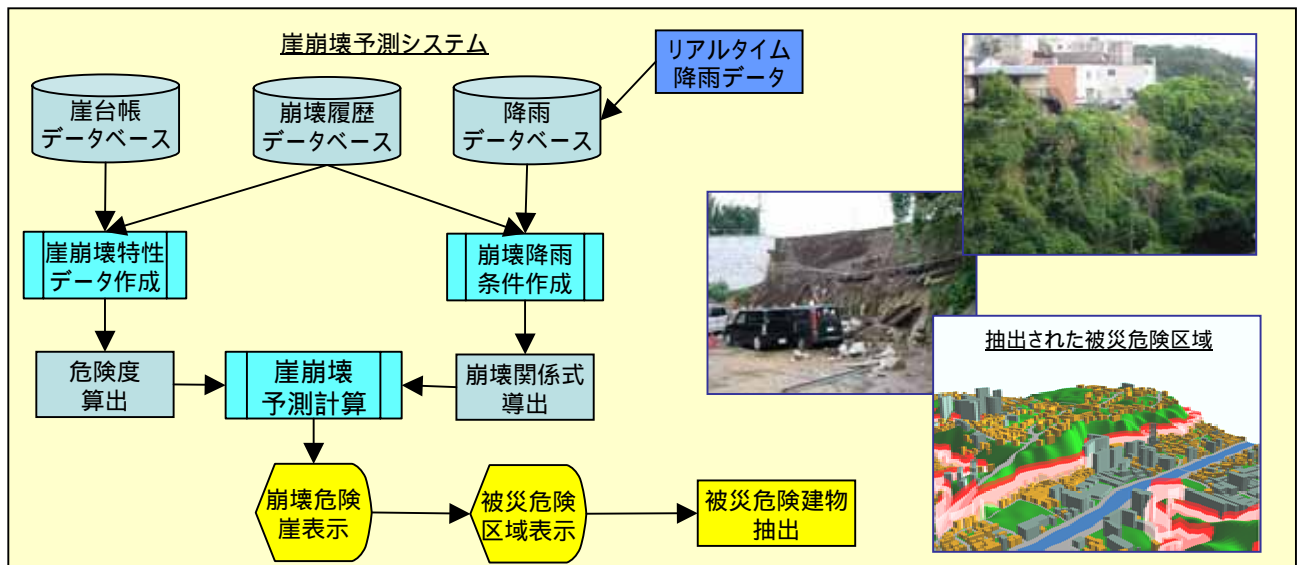
広域での崖(斜面)崩壊の予測



現場へのセンサーやカメラなどの装置の設置が不要
むずかしい地形や地盤データの個別モデル化が不要
降雨時のリアルタイムでの広域危険区域予測が可能

発明の特長

- 広域の崖(斜面)に対して簡易に危険度の評価が可能
- 崩壊履歴データベースが更新されると判断基準数値や崩壊関係式が更新される自己成長システム
- 降雨時に逐次更新される降雨データを用いて崖崩壊の予測や警報をリアルタイムで出力するリアルタイムシステム
- 崩壊の危険が予測される崖を地図上で表示
- 崩壊危険崖に対して崩壊により土砂が流出すると予測される被災危険区域を地図上に表示
- 被災危険区域内の被災危険建物を抽出可能



発明者からのメッセージ

従来のシステムに比べ専門装置も要らず、簡単なシステムでリアルタイムでの広域の崖崩壊の予測が出来ます。このシステムの利用により2次災害を防ぐことが可能となります。このシステムが利用され不幸な自然災害が最少に止めるよう、社会の役に立てればと思います。

発明名称	崖崩壊予測装置及び崖崩壊予測用コンピュータプログラム		
特許出願番号	特願2003-141571	出願日	2003年 5月20日
発明者	横浜国立大学 大学院環境情報研究院 佐土原聡 吉田聡 川崎昭如		

編集：よこはまTLO

お問合せ先 よこはまティーエルオー(株)
〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学共同研究推進センター内
TEL045(339)4441 FAX045(340)3541 E mail post@yokohamatlo.co.jp
URL:http://www.yokohamatlo.co.jp/